箱根ジオパークとは

Hakone Geopark

ジオパークとは地球活動の遺産を主な見どころとする自然の中の公園です。
ユネスコの支援により設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されています。
箱根火山は、世界的にみてもたいへん有名な火山です。豊かな自然と密接した歴史があることから、まさにジオパークに相応しい地域と言えます。

北と南をつなぐ自然のみち

この地域は、伊豆・小笠原弧が本州弧に衝突したプレートの境界域に位置することと、その中心である箱根火山が、南北にのびる天然の障壁をなしていることです。箱根火山は、その北に連なる足柄山地・丹沢山地をはじめとするフォッサマグナ地域と、その南に連なる伊豆半島から伊豆・小笠原諸島の自然をつなぐみちに位置します。

東と西をつなぐ歴史のみち

日本の歴史を形作ってきた東海道や足柄道は、東西を結ぶ大動脈です。戦国時代の小田原城や石垣山一夜城、中世から始まり江戸時代に隆盛を迎えた石材採掘、江戸時代の箱根関所跡などは、かつてあった東西の摩擦や緊張を今に伝えています。まさに本地域は、古代からの日本の東と西の文化をつなぐ歴史のみちに位置するのです。

箱根ジオパークを歩こう

真鶴の地質、生物、歴史を満喫するコース

03　コース案内
04　箱根火山の自然と歴史のあゆみ
06　コースマップ
08　真鶴半島の成り立ち
09　真鶴の石材業
10　しとどの窟（真鶴）／貴船神社
11　お林（魚付き林と漁礁）
12　真鶴半島採石場跡／三ツ石海岸
13　真鶴町立遠藤貝類博物館
　　岩地区／如来寺跡
14　真鶴町民俗資料館／五層塔・宝篋印塔
　　大ケ窪海岸／真鶴町の最高地点へ
15　真鶴立ち寄りジオスポット

ぶらっと箱根ジオパーク

コース案内

溶岩がもたらす真鶴の恵みと歴史を満喫

真鶴の地形は箱根火山のカルデラ形成と時を同じくして、２３万年～１５万年ほど前にかけて、この地域で噴出した溶岩が連なって形成されたと考えられています。真鶴を構成するこれらの溶岩は大きく岩溶岩類、白磯溶岩類、本小松溶岩類、真鶴溶岩類です（P8 地質図参照）。その中でも本小松溶岩類が分布する岩地区では、ここ真鶴でしか採れない本小松石の採石が古くから行われています。真鶴の石材業は漁業と並んで古くから町を発展させてきました。

このコースでは、こうした真鶴に欠かせない恵みである石材業の歴史を、建造物や採石跡でたどりながら、真鶴の地形や地質、人々が守り続けてきた自然をご紹介します。

ゆっくりと歩くも良し、バス、タクシーなどを使って楽々移動も良し、７㎢というコンパクトな町に、ギュッと詰まったジオの魅力をお楽しみください。

南郷山からのパノラマ

幕山の梅林と柱状節理

三ツ石海岸

千条の滝

番場浦海岸の採石跡

箱根関所

箱根火山の自然と歴史のあゆみ

2016年	南足柄市が箱根ジオパークに編入
2015年	大涌谷で小規模な水蒸気噴火
2014年	箱根ジオミュージアム開館
2014年	箱根ジオパーク誕生
1950年代～	● 県天然記念物 1979年指定 ウメボシイソギンチャク・サンゴイソギンチャク
1930年（昭和5年）	北伊豆地震　箱根離宮全壊
1923年（大正12年）	大正関東地震
1904年（明治37年）	宮ノ下～芦之湯～箱根町間　車道開通
1901年（明治34年）	滝廉太郎「箱根の山」（原題 箱根八里）を作曲発表
1900年（明治33年）	国府津～箱根湯本間に電車開通（小田原電気鉄道）
1896年（明治29年）	● 早川～熱海間に人車鉄道開通
1888年（明治21年）	国府津～箱根湯本間に馬車鉄道開通
1887年（明治20年）	新橋～国府津間鉄道開通 ドイツ人医師ベルツ、大涌谷に温泉治療所の建設を提案 塔之沢～宮ノ下間車道開通
1886年（明治19年）	小涌谷温泉誕生
1868年（明治元年）	● 貴船大明神から貴船神社に改称
1802年（享和2年）	荻窪用水完成
1680年（延宝8年）	箱根道石畳となる
1619年（元和5年）	箱根関所開設
1600年代初頭	早川石丁場群で採石
1590年（天正18年）	大久保忠世、小田原城主となる 豊臣秀吉、小田原攻め　石垣山一夜城築城
1496年 1504年（明応5年）～（永正元年）頃	北条早雲、小田原城を支配下に置く
1417年（応永24年）	大森氏が小田原周辺を領地とする
1300年（正安2年）	箱根精進ケ池・六道磨崖仏造像開眼供養
1180年（治承4年）	● 源頼朝、石橋山の合戦で敗れる
889年（寛平元年）	● 貴船神社（当時は貴宮大明神）創建
757年（天平宝字元年）	箱根湯本温泉が開かれる。箱根神社創建
2000年前頃	神山水蒸気爆発
2900年前頃	箱根火山最後の大規模噴火、冠ヶ岳の形成
3000年前頃	神山山体崩壊、芦ノ湖誕生
5500年前頃	羽根尾貝塚の形成
4万年前頃	後期中央火口丘の形成と仙石原湖誕生
6万年前頃	先神山の形成
6.6万年前頃	東京軽石流をもたらした爆発的噴火
13－8万年前頃	鷹巣山溶岩、屏風山溶岩などの前期中央火口丘の形成
23－13万年前頃	● カルデラと外輪山の形成、大規模噴火と真鶴溶岩、幕山溶岩などの噴出
27－23万年前頃	明神ヶ岳、米神溶岩などの箱根成層火山群、独立単成火山群の形成
35－27万年前頃	金時山、明星ケ岳などの箱根成層火山群の形成
40－35万年前頃	箱根火山の活動のはじまり（天昭山溶岩、畑宿溶岩など）
400万年前頃	箱根火山の基盤岩（早川凝灰角礫岩）の形成

ウメボシイソギンチャク

早川石丁場群

● 印はこのガイドブックのコースで見ることができます

カツラゴ海岸の真鶴溶岩

夕日の滝

湯河原火山噴出物がつくる不動滝

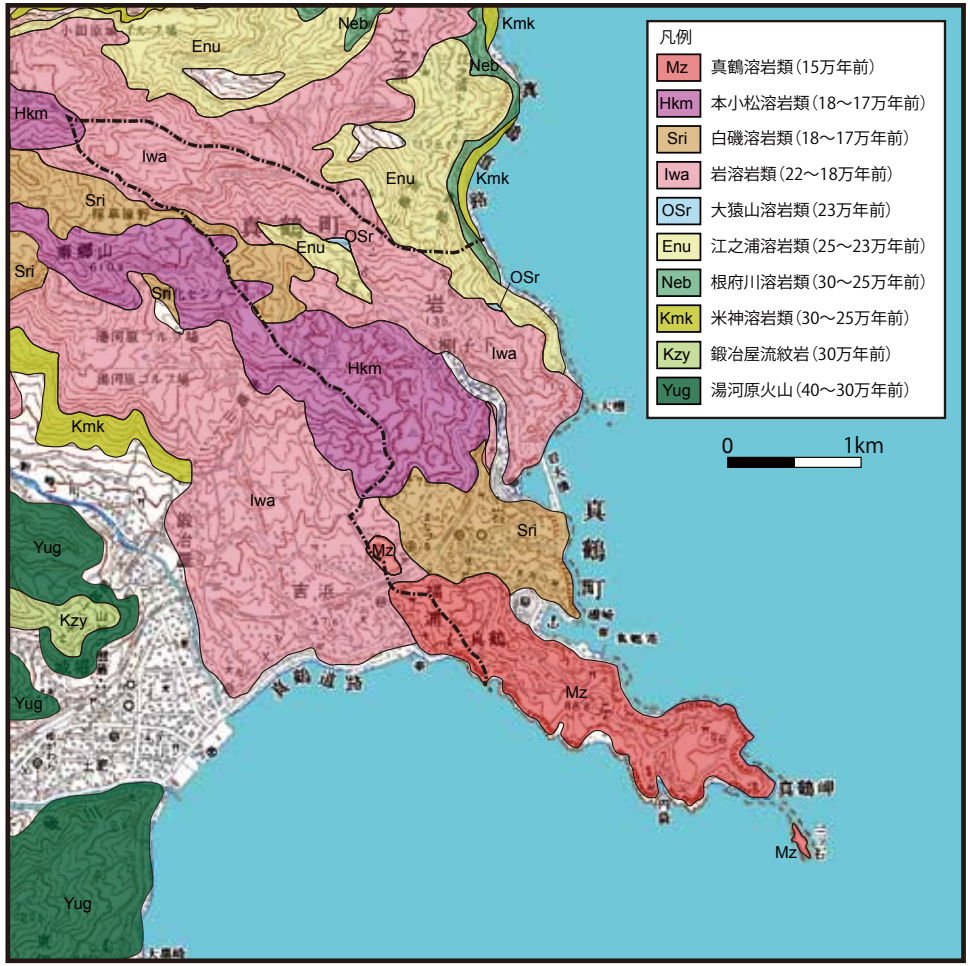
小田原城

矢倉岳

須雲川の平行岩脈群

Aコース
Bコース
Cコース
バス停
ビューポイント
岩沢川
真鶴町の最高地点へ
B-4 五層塔・宝篋印塔（瀧門寺）
B-2 如来寺跡
岩地区
B-1 岩海岸
B-3 真鶴町民俗資料館
岩IC
県道740号小田原湯河原線
国道135号
C-1 大ケ窪海岸
里海BASE（真鶴町観光協会）
遊覧船乗り場
しとどの窟
真鶴魚座
貴船神社
自泉院
鯖大師
真鶴道路
国道135号線
真鶴駅
真鶴
荒井城跡
福浦
子之神社
福浦カツラゴ海岸
（湯河原ジオサイト）
福浦IC
A-1
A-2
A-3 お林（魚付き林と漁礁）
A-4 真鶴半島採石場跡
（番場浦海岸）
A-5 三ツ石海岸
A-6
遠藤貝類博物館
お林展望公園
パークゴルフ場
中川一政美術館
三ツ石（笠島）
C-2 真鶴町の最高地点
本小松溶岩の露頭
片浦林道
白銀林道
星ヶ山公園
さつきの郷
N
250 0 250 500 m
100 0 100 200 m

1 真鶴半島の成り立ち
— 噴火が生んだ起伏と恵み —



地質図は日本地質学会国立公園地質リーフレット編集委員会（2007）を引用

箱根火山は約 40 万年前に活動を開始したと考えられています。外輪山となる複数の成層火山ができ（外輪山形成期）、カルデラが形成され（カルデラ形成期）、その中に複数の中央火口丘（前期中央火口丘および後期中央火口丘形成期）ができて今日の姿となっています。

写真：空から見た真鶴半島

真鶴は外輪山形成期の噴出物（米神溶岩類、根府川溶岩類、江之浦溶岩類）を土台にして、カルデラ形成期にこの地域で活動した単成火山（一連の単発の活動で形成された小型の火山）より噴出した岩溶岩類、白磯溶岩類、本小松溶岩類、真鶴溶岩類からなります（地質図参照）。これら 4 つの溶岩類が尾根や高台をつくり、大きな谷地形はこれらの溶岩類の境界に形成されています。町の産業を支える真鶴港、岩港といった天然の良港も、こうした地形を利用したことがわかります。本小松溶岩類（デイサイト～流紋岩）から採れる本小松石は、ここ真鶴でしか採れない良質な石材として知られています。また、真鶴半島は一枚の硬い安山岩質溶岩（真鶴溶岩類の真鶴岬溶岩）であることから、波の侵食を受けにくく安定しており、多くの生物が集まって豊かで美しい海を創り上げています。

2 真鶴の石材業
— 真鶴の生活に息づく「小松石」—

写真：本小松石採石場

岐阜県の寺には 1200 年前の小松石製の墓石が発見されていることから、採石自体は奈良時代には始まっていたと思われます。北条一族の墓石や長谷の大仏の礎石など、鎌倉時代になると広く小松石が用いられました。

その後、各地の城の建設資材としての需要が高まる戦国時代から江戸時代初期にかけて、真鶴の石材業は一層発展しました。石を輸送するのに都合の良い海辺という立地も、大きな助けとなり、江戸城の石垣は約 9 割が真鶴の石材を使用しているとも言われています。また、こうした資材としてだけではなく、現在では優れた技術で加工され、高品質の墓石や建築物としても用いられています。町の各所にたたずむ石造物は石材業の歴史を私たちに伝えています。

真鶴の地質、生物、歴史を満喫するコース

ジオ旅のはじまり
JR 東日本 真鶴駅

バスに乗って出発進行！

バス 約10分 魚市場 下車

徒歩 約1分

A-1 しとどの窟（いわや）
— 頼朝が身を隠した海食洞 —

真鶴港からしとどの窟、貴船神社に向かうバス道路は埋め立て地にあります。1180 年、石橋山の合戦で敗れた源頼朝が、この窟に身を隠して安房国へ脱出したと言われています。真鶴岬溶岩に形成された海食洞で、奥行きが 130m あったそうです。地震による土地の隆起や、第二次世界大戦時の建設用採石などを経て、現在の状態になりました。

大正関東地震前のしとどの窟

徒歩 約5分

A-2 貴船神社
— 石造物の宝庫 —

貴船神社は浜に漂着した古仏像を祀り上げ、この地に幸福をもたらすために興されたと伝えられており、漁や石材回漕（かいそう）を生業（なりわい）とする真鶴の人々にとって、海の安全の守り神ともされています。境内では本小松石の石段や石造物を多数見る事が出来ます。毎年 7 月 27・28 日に海上の安全祈願のために行われる「貴船祭り」は国の重要無形民俗文化財にも指定されている華かな船祭りです。

貴船神社

船の形をした石碑だ！

歴史の息吹を感じる貴船祭り

里海 BASE ちょっと寄り道

真鶴港の入口にあるこの里海 BASE では、海産物や農産物などの地場産品の販売や観光案内所があります。

開館時間
9:00 ～ 16:00
開館日　年中無休
電　話　0465-46-9274

真鶴魚座（さかなざ） ちょっと寄り道

魚市場の２階にある真鶴魚座では、港を眺めながら地魚料理などを楽しむことができます。

開館時間　10:00 ～ 17:00
食堂営業時間　11:00 ～ 15:00
休館日　水曜日
電　話　0465-68-6511

A-3 お林（魚付き林（うおつきりん）と漁礁（ぎょしょう））
— 300 年以上守り続けてきた真鶴の宝 —

真鶴半島先端にあるこの照葉樹林は、クロマツやクスノキの巨木が生い茂り、県の天然記念物に指定されています。江戸時代の中頃、小田原藩の命で 15 万本のクロマツを植樹したことから始まり、その後、明治時代には御料林となり、町に払い下げられた後も魚を呼ぶ森として町民によって大切に守られてきました。開発されずに守られたこの森や周辺の磯では数多くの動植物が絶えることなく育まれており、遊歩道を歩けば、美しい緑とさわやかな森の香りを楽しむことができます。

解説 魚付き林（うおつきりん）とは…海に樹影を落として魚介類の隠れ場になるなど、魚を寄せる効果があるとされる森林です。

真鶴町立中川一政美術館 ちょっと寄り道

真鶴町にアトリエを構え、多くの作品を生み出しました。ジオサイト「駒ヶ岳」の絵を是非ご覧ください。

開館時間 9:30 ～ 16:30（入館は 16:00 まで）
休館日　水曜日（祝祭日の場合翌日）
電　話　0465-68-1128

お林

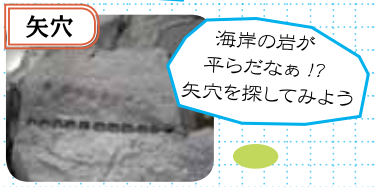
徒歩 約15分

記号案内　案内板　ビューポイント　食事　お手洗い

お林（魚付き林と漁礁）へ

真鶴半島採石場跡へ

真鶴の地質、生物、歴史を満喫するコース



徒歩 約15分

遠藤貝類博物館へ

徒歩 約20分

A-4 真鶴半島採石場跡（番場浦海岸）

— 採石が真鶴の地形を変えた？ —

真鶴の海岸の岩には横一列に並ぶ小さな穴があります。この穴は何でしょうか？これは石を切り出すためにあけたもので「矢穴（やあな）」といいます。

同じ真鶴岬溶岩でも場所によって岩質が異なり、緻密で硬い部分には矢穴が顕著に見られ、比較的軟らかい岩質の海岸西側では、四角い板状に石を切り取った跡があります。海岸線の波食台や海食崖のように見える部分にも、採石の跡がたくさんあります。採石を行う前の真鶴半島の形は、ひょっとしたら今と大きく違っていたのかもしれません。

A-5 三ツ石海岸

— 真鶴岬溶岩がつくる景勝地 —

三ツ石の特異な形は、真鶴岬溶岩がおもに波の侵食を受けてできたものと思われます。大正関東地震で隆起したせん孔貝の穴の跡が見られます。赤っぽい色をした部分は、溶岩が熱い時に、空気に触れて鉄分が酸化してついた色です。

黒潮の影響、生物が定着しやすい硬い溶岩の磯、と良い条件のそろっている三ツ石海岸は、県の天然記念物のウメボシイソギンチャクを始め、多くの生物を観察できる場所です。

また三ツ石海岸から遠藤貝類博物館へと登る坂の途中に、白い軽石の層が見られます。これは真鶴軽石という約 13 万年前の箱根火山カルデラ形成期末期の噴出物で、真鶴半島を数 m の厚さで覆っています。かつてはブロックの材料として採掘されていました。

A-6 真鶴町立遠藤貝類博物館

— 魅力的な貝の世界へ —

長年にわたり貝類の収集、研究活動を行っていた故遠藤晴雄氏のコレクションの寄贈によって開館した博物館は、真鶴、相模湾、世界の希少な貝など、国内有数のコレクション数を誇る博物館です。箱根ジオパークの拠点施設でもあり、入り口ではジオパークの情報を見ることもできます。

B-1 岩地区

— 随所に散らばる小松石 —

地区全体がジオサイトになっている岩地区は、南側に白磯溶岩類からなる平坦な台地（平台（ひらだい））、北側に岩溶岩類の山があり、両者の間の低地には、港や集落が形成されています。背後の本小松溶岩類の山では、本小松石の採石を行っています。海岸には溶岩の割れ目（節理）や縞模様（流理）が観察できる崖があり、地区のあちこちでは歴史ある石造物を見ることができます。

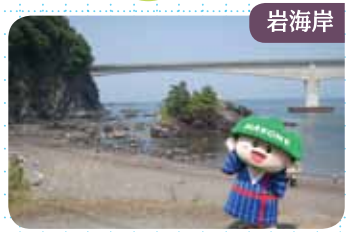
B-2 如来寺跡

—噴火の荒々しさを感じる洞窟 —

本小松石で造られた石像が安置されている如来寺跡の洞窟は、岩溶岩の噴石丘（火砕丘）（ふんせききゅう）をくりぬいて造られた洞窟で、赤く酸化した火砕物を内部から見ることができる珍しい場所です。

真鶴駅から 徒歩 約15分

岩海岸



徒歩 約10分

如来寺跡

五層塔・宝篋印塔へ

真鶴の地質、生物、歴史を満喫するコース

徒歩 約5分

五層塔

旧岩小学校近くの湧水

岩地区を流れる岩沢川

岩沢川の水量が少ないのは、火山噴出物が水を通しやすいためと考えられます。一方でしみこんだ水が湧水となって湧き出る所もあります。

溶岩とそれを覆う火山灰層

最高地点付近からの眺め

最高地点は山の頂より下にある

立ち寄りジオスポットへ

B-3 真鶴町民俗資料館
—真鶴の歴史がよくわかる —

真鶴の旧家、土屋家旧宅に真鶴の地場産業、石材・漁業関係資料を展示しており、詳しい解説を聞くことができます。

B-4 五層塔・宝篋印塔
—石材加工技術の極み —

一石から刻み出された五層塔や、本小松石より柔らかな新小松石（真鶴溶岩類）で細かな細工を施した宝篋印塔は、岩石工の技術の高さの証明です。これらは14世紀半ばに創建された瀧門寺にあります。

C-1 大ケ窪海岸
—白磯溶岩類の多様な地層を見る —

真鶴駅から 徒歩 約30分

真鶴港と岩港との間の海岸です。海岸へは真鶴港東側の丘の上にある鯖大師から下ります。露頭が点在し、白磯溶岩類の溶岩や火山灰の地層が見られます。海岸の岩には矢穴もあります。

板状節理の発達した溶岩

C-2 真鶴町の最高地点へ
— 岩沢川源流部と地形観察 —

湯河原さつきの郷から 徒歩 約70分

湯河原さつきの郷から片浦林道を歩き、岩沢川上流を渡り小田原市との境界まで行きます。岩地区を流れる岩沢川は水無川とも呼ばれますが、源流部はかなり奥にあることがわかります。付近からは真鶴半島先端部、伊豆大島、初島などを見渡すことができ、真鶴半島の地形を一望できます。

真鶴の生い立ちについて遠藤貝類博物館で行った実験も見てください。
http://nh.kanagawa-museum.jp/research/archives/kazan/index.html

※休館日、運休日は各施設へお問い合わせ下さい

真鶴町立遠藤貝類博物館
開館時間 9：30 ～ 16：30
足柄下郡真鶴町真鶴 1175-1
電話 0465-68-2111
http://www.town-manazuru.jp/shell-museum/

真鶴町民俗資料館
開館時間 10：00 ～ 15：00（昼食時は閉館）
足柄下郡真鶴町岩 596
電話 0465-68-1147

真鶴半島遊覧船
1日7便運航（季節により変更有）
営業時間 9：00 ～ 17：00
足柄下郡真鶴町真鶴 1947-2
電話 0465-68-3255
http://shounan-cruise.jp/index.html

注意 海岸の崖では落石に注意しましょう。
津波に備え、海岸から丘に登る道を確認しましょう。

ガイドさんとジオ旅に行こう！

- **時間が無くてもご安心**
  希望の時間、見たいものに合わせてご案内
- **もっと知りたい！**
  真鶴の歴史・自然・文化についてガイドがご案内
- **多彩なウォーキングコース**
  森林内の遊歩道など真鶴はウォーキングに最適！

真鶴観光ボランティアガイド Tel 0465-68-2543 Fax 0465-68-2547
URL http://www.manazuru.net/

箱根・小田原・湯河原・南足柄ガイド

案内よろしくね

箱根観光ガイド協会	（箱根町観光協会内）Tel:0460(85)5443
箱根ボランティア解説員連絡会	（箱根ビジターセンター）Tel:0460(84)9981
NPO 法人小田原ガイド協会	Tel:0465(22)8800
湯河原まちづくりボランティア協会	（湯河原町役場内）Tel:0465(63)2111
南足柄ジオガイドの会	（南足柄市役所内）Tel:0465(73)8001

マナヅルカレンダー

- 1月 三ツ石初日の出
  貴船神社初詣
- 3月 しだれ桜の宴
- 5月 海のまち豊漁豊作祭
  岩龍宮祭
- 7月 兒子（ちご）神社例大祭
  貴船まつり（27日・28日）
- 8月 岩海岸夏祭り（第1土曜日）
  海のまち豊漁豊作祭
  盆踊り大会
  マナ真鶴ハワイアンの夕べ
- 11月 海のまち豊漁豊作祭
  真鶴龍宮祭